

東日本旅客鉄道株式会社  
マーケティング本部 まちづくり部門  
品川ユニット マネージャー  
天内 義也 (あまない・よしや) さん



## TAKANAWA GATEWAY CITYが提案する 人・文化・企業全体を盛り上げる 「まちづくり」と「作品づくり」

～駅と街が一体となった「ロケーションサービス」の  
新たなチャレンジとは？～

「100年先の心豊かなくらしのための実験場」をコンセプトに、JR東日本が高輪ゲートウェイ駅（東京都港区）周辺で開発を進める「TAKANAWA GATEWAY CITY（高輪ゲートウェイシティ）」が新たなロケ地としても注目を集めている。広大な面積、様々な施設、アクセスの良さなど魅力十分。開発担当者は「新たなチャレンジ」とロケ誘致に意欲を見せる。

## INTERVIEW

「TAKANAWA GATEWAY CITY」は、都心の真ん中に、文字通り全く新しい都市景観の国際交流拠点を作る計画です。羽田空港や東京駅から近く、リニア中央新幹線に向けて大改良工事に入る品川駅からも近いというアクセスの良さが強みです。高輪・品川エリアは新しい日本の玄関口として今まさに生まれ変わろうとしており、「新しいことを始めるなら高輪だよ」とアピールしています。開発の途中段階から私は、未来を感じられるこのフィールドをいろいろな企業さんの活動に活用していただくと実感していました。ロケーションサービスも新しいチャレンジで、駅と街が物理的に一体になった珍しいスペースを使い、今までできなかった新しいロケーションサービスを展開できると思っています。

2025年3月27日に「まちびらき」をし、一部オフィスや広場が稼働しましたが、プロジェクトとしてはまだ4分の1が済んだ段階です。これから商業施設、ホテル、住宅棟とどんどん使える場所が増えていきます。ビルの夜景もいいですし、差し込んでくる朝日も綺麗です。街ができて上がっていくにつれ、「こういうところもロケに

使えそうだね」と新たに気が付く場所も出てくると思うので、そういう所も（制作者らと）一緒に探せたらいいです。

開発エリアの底地はすべてJR東日本が持っていて、投資、運営管理を一貫して行い、全体をしっかりコントロールできるのが強みです。一つの建物内と異なり、複数の敷地に個性豊かな用途の建物が並ぶ珍しいエリアですが、（一括して）全体の価値を上げることができ、ロケーションサービスを活発に受け入れられることにもつながります。ロケの依頼を受けてもたらひ返しにならないよう、情報が行き渡るようにし、窓口も一本にまとめて管理します。

「すぐ撮りたい」という制作者の要望には可能な限り応えたいし、エキストラ参加も可能だと思います。ロケを積極的に受け入れていくのは、私たちの街を使っていたきたいという強い思いからですし、企業さんのプロモーション効果がうまくいけば、街のブランド価値もより高くなります。ロケを通じて作品と街がしっかり相乗効果を生み出すような活動をしていき、首都圏エリアにおけるロケーションサービスのランドマークを目指します。

## LOCATION

### 魅力的なエリアがさらに拡大！

全5棟のうち、現在一部開業しているのは高輪ゲートウェイ駅正面のツインタワー「THE LINKPILLAR 1（ザ リンクピラーワン）」。この中に、2025年9月には商業施設「NEWoMan TAKANAWA（ニューマン高輪）」、10月には「JWマリオット・ホテル東京」がそれぞれ開業する。2026年春には住宅棟「TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE（高輪ゲートウェイシティ レジデンス）」と複合文化施設「MoN Takanawa: The Museum of Narratives（モン タカナワ：ミュージアム オブ ナラティブズ）」も開業し、グランドオープンを迎える。



※パースはイメージです。

オフィスやホテル、商業施設、複合文化施設、住宅棟など、新たにオープンする施設がそくそく。新しい「まち」を背景に、さまざまなシーンの撮影可能に！



公園のように居心地の良い芝生空間「Eki Park」が駅の使い方の幅を広げる。



屋上（地上30階）にはヘリポートがありロケにも開放。レインボーブリッジや東京スカイツリーなどが一望できる。



臨海部を見渡すことができる広々としたオフィフロア（期間限定）。



駅と街が一体となったランドスケープが魅力。

### 現在注目のスポットはコチラ！

JR東日本は「駅と街が直結し一体となった唯一無二のロケーションを生かした撮影舞台を提供する」とアピール。街の玄関口である高輪ゲートウェイ駅や、駅前の「Gateway Park」をはじめ、先行して一部開業した「THE LINKPILLAR1」のうち撮影場所として特別に公開しているオフィフロア、テラス、屋上などについて、随時問い合わせを受け付けている。

### 世界の玄関口として革新は続く！

羽田空港から近いというアクセスの良さや開発面積の広さだけでなく、国内外の企業や大学の研究機関、ホテルが集まり、住宅棟にはインターナショナルスクールも入る。2026年春のグランドオープン後は、より国際色豊かなエリアとなり、幅広いシーンの撮影ができるロケ地としての活用が期待される。



## PROFILE

天内 義也 (あまない・よしや) さん

2001年、東日本旅客鉄道株式会社入社。アトレなど商業施設の運営やマーケティング、リニューアル業務を担当し、米国留学を経て、2010年からTAKANAWA GATEWAY CITYのまちづくりに携わる。